



八高新時代!! 君も挑戦、八高で三刀流!!

「知の泉」に「緑の風」吹く

令和6年4月8日(月)

兵庫県立八鹿高等学校

校長 山本 宏治

21

令和6年4月8日の入学式で、次の話をしました。

「みなかみ遠き谷々の水を集めてあうところ おすぶにまかす知の泉」と校歌にうたわれるとおり、八鹿高校は但馬各地の峰に源を発する清らかな水が集まり、さらにおおきな流れとなって世界へとあふれ出てゆくところでもあります。今年もまた春が訪れ、学びへの意欲と、青春を謳歌するエネルギーにあふれる若者たちが、ご縁をいただき、こうしてここに集まりました。誇らしき「知の泉」をかたちづくり、「青春の緑の風」がさっそうとふきわたる希有の学園、これが八鹿高校の姿なのです。

さて、入学にあたり、新入生の皆さんに望むことを二つ、お話しします。

一つめ。命は奇跡、生きていることは素晴らしい。皆さん一人一人が、家族にとって、社会にとってかけがえのない大切な人なのです。「あなたは大切な人」という思いが、伝わり、また、伝わってくる、そのような学校を、ともにつくっていきましょう。

「あなたは誰かの大切な人であり、あなたにとって大切な人がいる」人は誰もが、そのように人との絆の中に幸せを見いだしながら命をつないでいるのです。人の尊厳を守る「心」があってこそ、皆さんの個性が輝き、学んだことが社会で生きて働くことにつながります。感謝の気持ちと自ら学ぶ姿勢、そして「まごころ」をもって、高校生活を送ってください。

二つめ。「八高新時代の幕が上がる!」を合い言葉に、多様な他者と協働し、簡単には答えが見つからないように思える様々な課題に取り組み、絆を深め、「在りたい未来」を創り出す気概を持って高校生活に臨んでください。時には困難にぶつかることがあるかもしれませんが、しかしそれは、人の成長を阻害するものではなく、成長を促してくれる試練であると考えてほしいと思います。野球のアメリカ大リーグの伝説的名選手、ベーブ・ルースが、「簡単ではないかもしれない。でも、それは、『できない』という理由にはならない。」と語ったとされています。「どうせ無理」という言葉であきらめないで。「だったらこうしてみよう」と、挑戦する精神を持ちましょう。